

れんけい

題字：松尾信彦書



香川県立中央病院
Kagawa prefectural central hospital

おなかに傷のつかない腹腔鏡手術“vNOTES”はじめました 産婦人科 部長 早田 裕

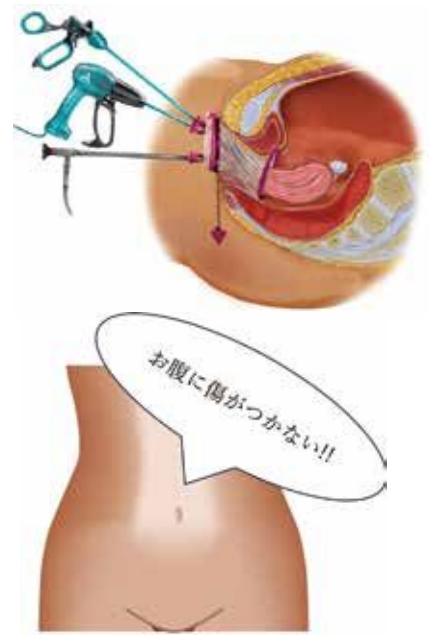
このたび、2024年4月よりおなかに傷がつかない腹腔鏡手術（vNOTES:ヴィノーツ）を始めました。

vNOTESとは経腔的内視鏡手術の略で、腔から腹腔鏡手術用の内視鏡カメラと手術器具（鉗子）を挿入し、子宮や卵巣を摘出する手術方法です。従来の腹腔鏡手術でもおなかに数か所小さな傷がつかただけなので開腹術と比べて侵襲の低い手術でしたが、vNOTESはおなかを全く切らないためさらに美容に優れ、おなかの傷の痛みや傷の感染がなく、入院期間が短く社会復帰までより早いというメリットがあります。

現時点での対象は、子宮筋腫や子宮頸部異形成（子宮頸がんの前がん病変）などの良性疾患で子宮全摘が適する症例ですが、今後は卵巣腫瘍や異所性妊娠に対する手術も行えるようにしたいと考えています。

ただし、すべて腔からの操作で行うため通常の腹腔鏡下手術よりも適応に制限がかかり、子宮が大きい場合、骨盤内に癒着が想定される場合、性交未経験の場合などは適応外となりますので、詳しくは外来でご確認ください。

当科では引き続き患者さんから術後に高い満足度が得られるよう、より低侵襲な手術を安全に行えるよう努めてまいります。



がん相談支援センターの紹介をします

患者サポートセンター師長 造田 シオリ
がん看護専門看護師 太田 亜紀子

第4期がん対策推進基本計画において、全体目標「誰一人取り残さないがん対策を推進し、すべての国民とがんの克服を目指す」とあります。当院のがん相談支援センターにおいても、患者さんやご家族などにサポートを行っております。相談内容は、多岐にわたり、治療への迷いや不安、仕事や経済面などさまざまです。対面での相談だけではなく、電話相談も受けています。外来通院中の患者さんから問い合わせも多くあったアピアランスケアに関しては、ウィッグやケア帽子などを試着できるように、相談室の一角にアピアランスケアコーナーを設けました。さまざまな患者さんの声を参考に支援を考えていきたいと思っております。私たちががん相談員は、香川県内のがん診療連携拠点病院と協力をして、研修企画や運営を行っております。医療関係者と患者会の活動の支援や、相談員の質向上に向け、今回は県内の拠点病院の相談員がピアサポート活動について学びを深めました。

今後の患者さん・ご家族などの支援に繋がる大変有意義な研修となりました。

がん相談員がお待ちしておりますので、⑧患者サポートセンター内、がん相談支援センターにお立ち寄りください。



「肝細胞がん（肝臓がん）について」

肝臓内科 診療科長 永野 拓也

肝臓がんとは

肝臓がんの死亡率は1990年代にピークを迎え、近年は減少傾向ですが、部位別死亡率はいまだ上位にあり、男性で5位、女性で7位となっています。

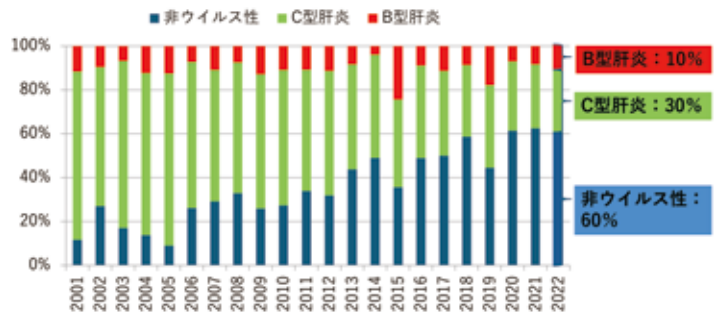
症状

肝機能の低下による影響と肝細胞がんそのものによる症状があります。前者は黄疸やむくみ、かゆみ、倦怠感などの症状が現れることがあります。がんが進行した場合は腹部にしこりや圧迫感、うずくような痛みが出現します。

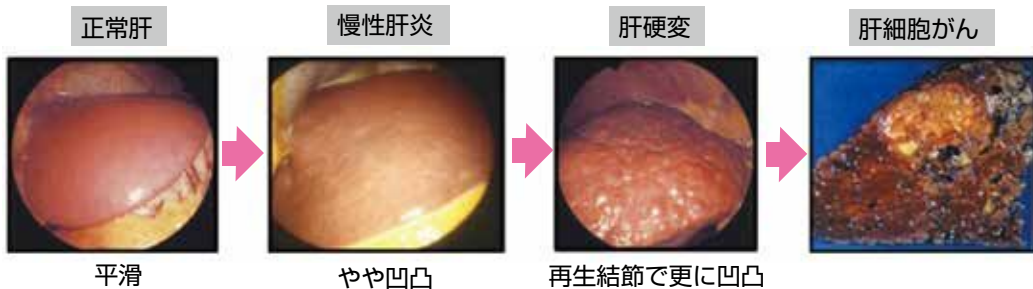
原因

肝臓がんの多くは、B型肝炎（HBV）、C型肝炎（HCV）に代表されるウイルス性肝炎、アルコール性関連肝疾患、非アルコール性脂肪性肝疾患（NASH）を背景にした脂肪肝によって発症すると考えられています。

当院における肝細胞がんの基礎肝疾患は、全国調査の傾向と同じ推移をたどっており、過去に70%以上を占めていたC型肝炎は2022年には30%に減少、B型肝炎は10%前後で推移しています。しかし、非ウイルス性肝炎は増加傾向で、60%を占めています。



これはB型肝炎とC型肝炎の感染予防策の徹底によって新規のウイルス性肝炎患者が減少したこと、抗ウイルス療法の進歩で慢性肝疾患の進展を抑制できるようになったからです。しかし、飲酒、肥満などの生活習慣病を併発して肝硬変に進展するケースが増加しています。肝硬変が増加すれば肝がんの発生も増加しますので、注意が必要です。また、脂肪肝の原因となる肥満人口数、糖尿病の罹患率を考慮すると、脂肪肝による肝がんは、今後さらに増加することが予想されます。2001年から2022年に当院で診断した新規肝細胞がん患者は、2004年が最多の73例でその後減少し、現在は年間平均54例の患者さんを診療しています。男性に多く、7割を占めています。男女ともに診断時平均年齢は高齢化しており、2022年は女性73.8歳、男性74.5歳と、特に男性の高齢化が目立ちます。

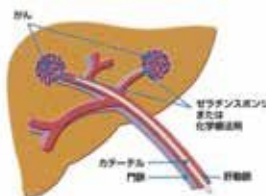
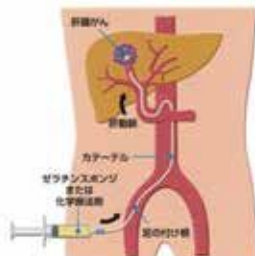


当院の主な治療法

肝臓がんの治療は、肝予備能、癌の個数、大きさ、存在部位、脈管侵襲の有無、遠隔転移の有無、患者さんの全身状態（PS：日常生活がどの程度自立しているか）、併存疾患によって肝切除ができない場合は、内科的治療を検討していきます。

①カテーテル治療（肝動脈化学療法（TAI）、肝動脈塞栓術（TAE）、肝動脈化学塞栓術（TACE））

肝細胞がんは肝動脈から栄養を受けているので、肝動脈から治療を行います。当院では、足の付け根の動脈から、肝動脈にカテーテルを挿入し、治療を行っています。



② 穿刺局所療法（ラジオ波焼灼療法（RFA）、マイクロ波凝固療法（MWA）など）

ラジオ波治療とマイクロ波治療は使用する電磁波が異なります。

ちなみに、マイクロ波は電子レンジに用いられており、先端の電極派は可変式で、5ミリから30ミリまで調整でき、電極長が長い程大きく焼灼できます。

③ 薬物療法（分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬）

薬物療法の効果の予測は難しく、様々な副作用があらわれるため、投与は慎重に検討する必要があります。また薬物療法のみで根治できる例は少なく、治療が奏効しがんが縮小したタイミングで切除、TACE、焼灼術等を検討し根治をめざします。



最後に

現在、ウイルス肝炎に対する抗ウイルス治療法は、高い治療効果が期待できます。しかし、肝炎ウイルス検診を受けていない未診断のウイルスキャリアの方も多数残存していると考えられていますので、まずは肝炎検査を受けることが大切です。

線維化の進んだ肝疾患は発癌の危険が高くなります。ウイルス性肝炎ではウイルスが駆除・制御できても発癌の可能性は残ります。また脂肪性肝疾患の患者さんにおいても肝線維化が進んでくると発癌の可能性が高くなりますので注意が必要です。

肝炎治療助成制度、肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業など医療費の助成制度がありますので、肝炎相談員にご相談ください。



日本肝臓学会 2024年度四国地区 市民公開講座 開催報告 ～肝臓の病気の知識の い、ろ、は～

2024年7月28日（日）「日本（世界）肝炎デー」に、かがわ国際会議場（サンポート高松）にて、日本肝臓学会主催の市民公開講座を開催いたしました。当日の最高気温は37.6℃！猛暑日にもかかわらず、180名の方々に足を運びいただきました。会場では、香川県の観光推進のマスコットキャラクター「親切な青鬼くん」が皆様をご案内。受付にて、当院オリジナルのボールペン・エコバッグ・ウエットティッシュ・うちわ等の肝炎啓発グッズを配布いたしました。皆様には大変喜んでいただけたようです。

今年度は、香川県が積極的に肝炎の啓発を行う「積極的広報地域」に指定され、「知って、肝炎プロジェクト」の名目で啓発活動を行います。その第一弾として、市民公開講座の冒頭に「日本肝炎デーで学ぶ健康の大切さ」をテーマにトークショーを行いました。トークショーでは、当院の高 Courtney 院長と、ゲストに肝炎対策特別大使・五代夏子さん、スペシャルサポーター・STU48 福田朱里さんをお迎えし、肝炎の早期発見・早期治療の大切さと、肝炎ウイルス検査の重要性についてのお話がありました。同日、同施設の1階では、香川県と香川大学医学部附属病院による無料肝炎ウイルス検査が実施されており、検査の重要性を学んだ多くの参加者が健診車へと向かう様子が見受けられました。

講演は当院の医師・管理栄養士と、香川大学医学部附属病院・三光病院から講師をお招きし、「肝臓の病気の知識の い、ろ、は」をテーマに「ウイルス性肝炎」「肝がん」「脂肪肝」「肝臓にいい食事」「アルコール依存症」の5演題で肝疾患の最新情報と治療・肝臓にいい食事について、わかりやすく解説しました。2時間半に渡る講演でしたが、熱心にご聴講いただきました。

「日本（世界）肝炎デー」は一年に一度ですが、今後も年間を通じて、香川県肝疾患診療連携拠点病院である当院と香川大学医学部附属病院、香川県で力を合わせ、肝疾患の最新情報と肝炎ウイルス検査の重要性を全世代に向けて発信してまいります。ぜひ、皆様の周りの大切な方々へも、お伝えいただけますと幸いです。



ゲノム医療最前線 3

がんゲノム医療とは

ゲノム医療センター 岡本 邦男

私たちの体をつくる一つ一つの細胞は、2万数千個もの遺伝子によってコントロールされています。ゲノムとは、遺伝子をはじめとする遺伝情報の全体を意味します。がんは、主に遺伝子に傷が付くことで発生します。遺伝子に変化して正しく働かなくなること、細胞はコントロールを失ってしまいます。このような正しく働かなくなった細胞により「がん」が発症します。加齢やたばこ、食生活などの生活習慣や環境要因によってできる遺伝子の傷が元となってがんが発生します。生まれ持った遺伝子の違いが原因で、「がん」になりやすい体質を持っている場合があります、「遺伝性腫瘍」と呼びます。がん細胞のゲノムを調べて、遺伝子の変化をもとに患者さん一人ひとりのがんの性質を知り、適切な治療法を選択していくのが、「がんゲノム医療」であり、遺伝子情報に基づくがんの個別化治療の1つです。

がんゲノム医療では、主にがんの組織を使って多数の遺伝子を同時に調べる「がん遺伝子パネル検査（がんゲノムプロファイリング検査）」によって、一人一人の遺伝子の変化や生まれ持った遺伝子の違い（遺伝子変異）を解析し、がんの性質に合わせた治療を行います。全国にがんゲノム医療中核拠点病院（13カ所）やがんゲノム医療拠点病院（32カ所）、がんゲノム医療連携病院（223カ所）が指定されており（2024年9月1日現在）、がん遺伝子パネル検査を受けることができます。当院はがんゲノム医療連携病院に指定されています（図1）。がんの薬物療法は、がん種（臓器）ごとに承認された化学療法剤（抗がん剤）を用いた治療が中心でしたが、2000年代に入るとEGFR阻害薬のように特定の遺伝子の異常を標的とした薬剤（分子標的薬）も使われるようになりました。

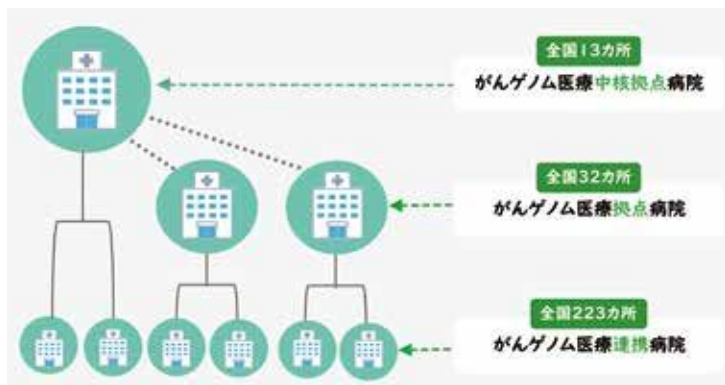


図1 がん遺伝子パネル検査が実施可能な施設

さらに、2010年代に入ると特定の分子標的薬の効果を事前に調べる検査（コンパニオン診断）が導入され、より効果的に分子標的薬が使えるようになりました。さらに検査技術の進歩により、数十から数百個の遺伝子の異常を一度に調べる検査（がん遺伝子パネル検査）が開発され、日本では2019年6月から、「がん遺伝子パネル検査」(図2)が保険診療になりました。

検査名	①FoundationOne CDx がんゲノムプロ ファイリング	②OncoGuide NCC オンコパネルシステ ム	③GenMinaTOP がんゲノムプロファ イリングシステム	④Guardant 360 CDx がんゲノムプロ ファイリング	⑤FoundationOne Liquid CDx がん ゲノムプロファイリング
検体	腫瘍検体	腫瘍検体と血液	腫瘍検体と血液	血液	血液
解析遺伝子数	324	124	737	74	324
必要期間	1-2ヶ月	1-2ヶ月	1-2ヶ月	1ヶ月	1ヶ月

図2 がん遺伝子パネル検査

特定の分子標的薬を使用するかどうかを判定するコンパニオン診断に対し、がん遺伝子パネル検査では、結果を総合的に判断して最適な治療法を探ります。しかし、新しい治療法であるため、問題点もあります。がん遺伝子パネル検査を行って、その結果から治療効果が期待できる治療薬の情報が得られる患者さんの割合は約10%とされており、かつ必ず治療効果が得られる保証はありません。たとえ効果が期待できる薬剤が見つ

かったとしても、それが未承認の薬剤であった場合、治療に係る費用が自費になったり、薬剤の投与を受けるまでにさらに時間を要したりする場合があります。

がん遺伝子パネル検査は保険診療内で行うことが可能となっていますが、検査を行う対象は、標準治療のない固形がん、標準治療が終了（もしくは終了の見込み）した固形がん、原発不明がん、希少がん、小児がんとなっており、かつ患者さんの全身状態、臓器機能が維持されていることが条件となっています。従ってがんを患った患者さん全員に行っている訳ではありません。検査を希望される方は、まずは主治医と相談していただくか、当院のゲノム医療センタースタッフにご相談ください。

がんゲノム医療外来

診療のお申し込みは、患者サポートセンターにお問い合わせください

TEL（病院代表）087-811-3333

FAX（患者サポートセンター）087-802-1160



認定・専門看護師コラム

その10

「感染管理認定看護師って？」

感染管理認定看護師 村井 由佳

感染管理認定看護師の使命は、「患者さんを感染から守ること」です。患者さんにとって「感染」が起こるといことは好ましくないことであり、発生を最小限に抑えたいと思っています。私達は、「どうすれば感染を予防できるか」を常に念頭に置き活動しています。これを実現するためには、職員全員が感染対策を理解し、正しく日常的に実践できるようにすることが必要であると考え、様々な取り組みを行っています。

院内でどのくらい感染が起きているか調査・評価し、改善に繋げる医療関連感染サーベイランスという活動や、感染対策マニュアルの策定や改訂、感染対策に関する研修、職種に合わせた勉強会の開催などを行っています。また、医師・微生物検査技師・薬剤師らとチームを組み、病棟や各部署に定期的にラウンドし、実践する職員と課題や改善策をディスカッションしています。



さらに地域においては、高松市医師会や市内の医療機関と協働し、地域の感染対策の質向上のために感染対策に関するカンファレンスを開催したり、医療機関を訪問し感染対策の助言を行っています。

現在、当院には2名の感染管理認定看護師が在籍しています。「患者さんを感染から守る」ために、継続した活動をこれからも行っていこうと思っています。

リハビリテーションのおハナシ

その3

「認知症のリハビリテーションについて」

リハビリテーション部 作業療法士 武田 美幸

現代は、65歳以上の4人に1人が認知症または軽度認知症という超高齢社会です。認知症になると記憶力や判断力などに障害が生じ、対人関係や社会生活に支障をきたします。特に病気やけがなどによる入院は、急な環境の変化についていけず混乱することや、場所や時間もわからず不安を感じ、症状を悪化させてしまうことがあります。

私たち作業療法士は、そのような認知症患者さんが安心して過ごすことが出来るように、お一人お一人の気持ちに寄り添った関わりを心掛けています。作業療法では、その方の身体機能に応じた運動や食事・排泄動作などの日常生活動作練習、計算ドリルなどの認知機能トレーニングなどを通して、その人らしい生活が送れるようサポートします。より安心してリハビリに取り組めるように、会話をしながらどのような生活を送ってきたのかを知り、手芸などの趣味活動や新聞を読むといった日課など、その方の興味や馴染みのある作業活動を取り入れています。

また、多職種との連携やご家族との情報共有を大切に、より心地よいと感じることの出来る環境づくりを心掛けています。



作業療法の様子



作業療法士スタッフ

コラム おつうじにまつわるうんちく話



その28

消化器内科 部長 田中 盛富



大切なことは、あとになって分かります。
 中学校の理科では、マグネシウムを燃焼させると酸化マグネシウムという白い粉末が生成されることを学習します。ここではマグネシウム原子 (Mg) と酸素原子 (O) が1個ずつ結合するのですが、中学生にとっては質量比が3:2ということが重要です。

酸化マグネシウムは、便をやわらかくする緩下剤として用いられる非刺激性の便秘のお薬です。いろいろな製薬会社から発売されており、商品名は異なるものの多くの場合「マグ」という言葉が入っていることが特徴です。昔から日本ではよく使用されていますが、海外ではあまり使用されないそうです。

酸化マグネシウム (MgO) は、内服すると胃内で胃酸 (HCl) と反応して塩化マグネシウム (MgCl₂) となり、さらにその後、腸管内で胆汁などと反応し、重炭酸マグネシウム (省略)、炭酸マグネシウム (省略) と変化します。これらの重炭酸マグネシウムや炭酸マグネシウムは水分を引き込むため、便が膨張して腸管を刺激し、便もやわらかくなりお通じがよくなります。マグネシウムは必須ミネラルであり一定量摂取して、腸管から吸収される必要がありますが、下剤として効果を発揮するためには、腸管に吸収されないほうがよいのです。重要なことは、酸化マグネシウムが下剤として効果を発揮するには、胃酸が必要なことです。そのため胃酸を抑える胃薬と一緒に服用したり、胃を切除している方は十分な効果が期待できません。

ちなみに、酸化マグネシウムは胃酸との反応により胃酸を中和するため、胃酸過多の症状を抑える胃薬として使用されていたこともありますが、現在では他にもっとよい胃薬があるため、胃薬として使用されることはほとんどありません。

日常みかけないマグネシウムをわざわざ燃やすという学習の意義を、中学生当時の私は理解できていませんでした。あのときの白い粉末が便秘薬として日本国民の間で広く用いられている重要な物質であることを、中学を卒業して長い年月の後ようやく分かったのです。3:2のことは忘れていても、酸化マグネシウムには胃酸が必要なことは覚えておきましょう。

第12回

病院祭を 開催します！

日時：令和6年11月9日(土)

10:00 ~ 14:00

場所：香川県立中央病院

(香川県高松市朝日町一丁目2番1号)

【イベント内容 (一部抜粋)】

- ・公開講座 (「能登半島地震とドクターヘリ」)
 - ・院内ツアー (ヘリポートやダ・ヴィンチなど見学) ※人数制限あり。 ※中学生以上に限ります。
 - ・キッズ体験コーナー (白衣体験、薬剤師体験、献血体験)
 - ・防災展示、石川県復興応援物産展
 - ・健康チェック (骨密度測定、肝炎ウイルス検査) ※人数、年齢制限あり。
 - ・ステージイベント (バルーンパフォーマンス、キッズダンス、かがね文芸祭2025、フラダンス、高松市主催デリバリーアーツ2024公演)
 - ・高松南高校 野菜・果物・花苗販売 ・水彩画教室 ・お茶席 など
- 病院敷地内にはキッチンカーもやってきます！お子様にも大人の方にもお楽しみいただける内容となっておりますので、皆様お誘いあわせのうえ、是非お越しください。
- ※人数や年齢に制限があるイベントがあります。また感染状況など事情により内容を変更、中止する場合があります。受付方法やその他詳細、最新情報は当院 HP にてご確認ください。

業務課 涌嶋 沙和

医師の人事異動

転入 (10月1日付)
①出身大学②卒業年③趣味④抱負

転出

※大変申し訳ありません。『薬剤部だよりその7』は、紙面の都合で次号に掲載いたします。



- ①岡山大学
- ②令和2年
- ③スポーツ観戦
- ④日々、精進してまいりますのでよろしくお願いいたします。

こばたけ まさし
小島将司 (脳神経内科)



- ①愛媛大学
- ②令和2年
- ③テレビドラマ鑑賞
- ④地域の皆様のお役に立てるように精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

たなか しんたろう
田中慎太郎 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

(8月31日付)
亀田奈々
(麻酔科)

(9月30日付)
高橋正彦
(循環器内科)

野田実里
(耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

合田亮人
(産婦人科)

中村 大
(整形外科)

西山波南
(麻酔科)



- ①香川大学
- ②令和3年
- ③ドライブ、スキー
- ④少しでも皆様のお役に立てるように日々精進してまいります。

むかい けんと
向井健人 (産婦人科)



- ①長崎大学
- ②平成30年
- ③音楽鑑賞
- ④香川県の口腔外科医療に貢献できるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

とみなが もえ
富永 萌 (歯科・口腔外科)

医療セミナーのご案内

日時 ● 令和6年
10月31日(木)

19:00~

講師 ● 泌尿器科 部長

谷本竜太先生

演題 ● 「泌尿器科領域における
ロボット手術」

医療セミナーの
ページをご覧ください
だけです→→→



広報誌「れんけい」
バックナンバーが
ご覧いただけます。

発行者 香川県立中央病院 高口 浩一
編集 広報委員会

〒760-8557 高松市朝日町一丁目2番1号
TEL (087)811-3333 FAX (087)802-1160